

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	航空知識 I						
学科・コース	エアライン科／客室乗務員コース						
担当教員	中西 裕子、阪本 知恵						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義		1	通年	必修	30	2	
授業目的 到達目標	航空業界の幅広い仕事への理解を深めながら、専門用語やレターコード、航空機・空港に関する知識と規定を実践的に身につけます。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション	○	PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	航空業界について①（DVD視聴含）			① 航空業界の仕事全般が理解できる ② 国内外主要航空会社を知り、コードを理解できる ③ 国内外主要空港を知り、コードを理解できる ④ 航空業界専門用語の基礎が分かる ⑤ ハブ空港について理解できる ⑥ 世界の航空機とメーカーについてわかる ⑦ 航空業界と安全性について理解できる ⑧ 危険物知識について理解できる		
	3～6	空港について①					
	7～8	空港について②（国内海外空港コード、航空業界専門用語）					
	9～10	航空業界について②					
	11～12	滑走路 P58-62					
	13～14	小テスト（2レター、3レター）					
	15～16	前期確認テスト					
	17～18	エアカーゴ（株）ドリームスカイ名古屋様					
	19～20	危険物の知識					
	21～22	航空機について①					
	23～24	運航の安全①					
	25～26	運航の安全②					
	27～28	航空機について②					
29～30	科目修了試験						
成績評価方法	小テスト（20%）前期確認テスト（20%）科目修了試験（60%）						
使用テキスト ／教材	オリジナルテキスト・「航空知識」						
関連科目	航空知識 II						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	グランドハンドリング概論						
学科・コース	エアライン科／客室乗務員コース						
担当教員	望月 照夫						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	1	通年	必修	30	2	
授業目的 到達目標	グランドハンドリング業務を理解し、その分野に就業する場合の基礎知識を習得することを目標とします。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 ○		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	授業紹介・グランドハンドリングとは					
	3～4	空港の施設・設備			① グランドハンドリングの概要を理解できる		
	5～6	機側作業の流れ			② 空港の施設とその機能が説明できる		
	7～8	GSEの種類と機能			③ 機側作業のフローチャートを描ける		
	9～10	GSEの種類と機能・演習			④ 作業に使われるGSEと機能を説明できる		
	11～12	航空貨物と機体			⑤ ULDの区別と搭載可能な機体を理解する		
	13～14	ULDについて			⑥ ロードシートが読める		
	15～16	ULD搭載パターン			⑦ 航空貨物の特徴と種類が説明できる		
	17～18	ULD搭載とトーイング連結			⑧ 特別な貨物の種類と取扱いを理解する		
	19～20	航空貨物の種類			⑨ 取扱ラベル・危険物ラベルの知識がある		
	21～22	特別な貨物とドキュメント			⑩ 貨物の種類と必要な文書を理解できる		
	23～24	PERISHABLES・演習					
	25～26	LIVE ANIMALS・演習					
	27～28	危険品の取扱い					
29～30	科目修了試験						
成績評価方法	科目修了試験（60％）提出課題（40％）						
使用テキスト ／教材	航空機のグランドハンドリング（日本航空技術協会）、配布資料						
関連科目	航空知識Ⅱ						
その他	グランドハンドリングに興味を持ち、就職先の一つの候補となることを期待します。						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	TIM基礎						
学科・コース	エアライン科／客室乗務員コース						
担当教員	中西 裕子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	1	後期	必修	30	2	
授業目的 到達目標	国際線の搭乗手続き時に必須である各国の旅券・査証・入国の際の規則についての英文をTIM(Travel Information Manual)を用いて読み取る基礎力を身につけることを目指します。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 ○	反転授業	調査授業	フィールドワーク			
	双方向アンケート	ペアワーク ○	グループワーク ○	ロールプレイ			
	プレゼンテーション	PBL	模擬授業	その他			
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	海外渡航における旅券、査証、TIMの重要性			① TIMと渡航書類の関係性を理解できる ② パスポートとビザの役割を知る ③ ビザと電子渡航認証の違いを理解できる ④ 入国時における無査証での滞在可能期限を計算することができる ⑤ 入国時における旅券の必要残存期限を計算することができる ⑥ TIMATICの独特の文面に慣れ、重要な箇所を判断することができる ⑦ あらゆる旅程からTIMATICを見て搭乗手続の可否を判断できる ⑧ TIMATICの応用文に対応できる		
	3～4	電子渡航認証、シェンゲン協定について					
	5～6	日本国籍：シンガポール行きTIM読解					
	7～8	日本国籍：台湾行きTIM読解					
	9～10	日本国籍：中国行きTIM読解					
	11～12	日本国籍：韓国行きTIM読解					
	13～16	TIM読取り練習					
	17～18	無査証滞在可能期限の計算					
	19～20	小テスト					
	21～24	TIM読取り応用					
	25～28	総復習					
	29～30	科目修了試験					
成績評価方法	科目修了試験（70％）小テスト（30％）						
使用テキスト ／教材	教員作成冊子						
関連科目							
その他	電子辞書、電卓を持参すること。 ※実務経験がある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	エアライン筆記対策						
学科・コース	エアライン科／客室乗務員コース						
担当教員	山崎 弘						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	1	通年	必修	60	4	
授業目的 到達目標	航空業界における業務遂行でのビジネス的な判断を要する場において、数値的な理論を用いた合理的な判断ができること、また、採用時に評価される論的思考力を養うことを目的とし、総合的な問題解決ができることを目標とする						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 ○	反転授業	調査授業	フィールドワーク			
	双方向アンケート	ペアワーク ○	グループワーク ○	ロールプレイ			
	プレゼンテーション	PBL	模擬授業	その他			
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	数式基礎の理解と確認					
	3～6	代数の利用と応用			① 数式の基礎ルールが理解できる		
	7～10	計量単位の変換と活用			② 代数の活用ができる		
	11～14	割合・比・対数の理解、数式の理論的な活用			③ 比と割合の概念を数式化できる		
	15～18	推論			④ 単純な理論を積み上げて結論を出せる		
	19～22	資料の読み取り			⑤ 必要な情報を抽出し解答を導き出だせる		
	23～26	集合			⑥ ベン図の活用と応用から新たな情報を得られる		
	27～32	順列と組み合わせ			⑦ 物事のパターンを順列と組合せに区別できる		
	33～36	確率			⑧ 順列と組み合わせの違いを理解する		
	37～40	収益及び損益			⑨ 余事象と順列・組合せによる確率が理解できる		
	41～44	仕事算・物の流れ、総合演習			⑩ 仕入れ～利潤までの数字を追うことができる		
	45～58	ランダムな出題演習			⑪ 全体を1とする割合の概念を理解する		
	59～60	科目修了試験			⑫ 数式を総合的に組み合わせて問題解決できる		
成績評価方法	筆記式の科目修了試験と授業理解度評価の小テストおよび授業への参加態度を評価する 科目修了試験（60％）小テスト（20％）平常評価（20％）						
使用テキスト ／教材	講師作成プリント、「これが本当のSPI」講談社						
関連科目	客室キャリアデザインⅡ						
その他							

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	エアライン英語 I						
学科・コース	エアライン科／客室乗務員コース						
担当教員	松永清美・関根由美子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	1	通年	必修	30	2	
授業目的 到達目標	エアライン採用試験に必要な英語基礎力を身につけ、TOEIC550点相当の英語力の習得を目指します。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 <input type="radio"/>	反転授業		調査授業	フィールドワーク		
	双方向アンケート	ペアワーク <input type="radio"/>		グループワーク <input type="radio"/>	ロールプレイ <input type="radio"/>		
	プレゼンテーション	PBL		模擬授業	その他		
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	授業説明、各パート毎の解説					
	3～4	ミニ模試（解答・解説）			①TOEIC TESTについて理解する		
	5～10	TOEIC TEST Part1・2・5説明と問題演習			②各自の強みと課題となるパートを明確にする		
	11～26	TOEIC TEST Part3・4・6・7説明と問題演習			③目標スコアの設定と取り組み方針の確認		
	27～28	科目修了試験			④単語力強化によるリーディング力強化		
	29～30	総復習			⑤英語耳をつくり、リスニング力を強化		
					⑥英語の音声に近い発音を習得する		
					⑦実際に使えるフレーズや単語を身に付ける		
成績評価方法	平常点（50％）授業内小テスト・科目修了試験（50％）						
使用テキスト ／教材	SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST BIGINNER はじめてのTOEIC L&Rテスト ハーフ模試3回分 キクタンTOEIC L&RテストSCORE500・POSITIVE STEPS TO THE TOEIC L&R TEST ミニ模試トリプル10 TOEIC L&Rテスト						
関連科目	エアライン英語 II						
その他	レベルに応じて2クラス編成。電子辞書または英和辞典を持参すること。						

授業科目名	手話演習 I						
学科・コース	エアライン科／客室乗務員コース						
担当教員	大川 香織						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	1	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	基本的な手話会話を習得することを目指します。 聴覚障害者の暮らしについて理解することを目指します。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="radio"/>	・対面/遠隔 <input type="radio"/>	・オンデマンド <input type="radio"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 <input type="radio"/>		反転授業 <input type="radio"/>	調査授業 <input type="radio"/>		フィールドワーク <input type="radio"/>	
	双方向アンケート <input type="radio"/>		ペアワーク <input type="radio"/>	グループワーク <input type="radio"/>		ロールプレイ <input type="radio"/>	
	プレゼンテーション <input type="radio"/>		PBL <input type="radio"/>	模擬授業 <input type="radio"/>		その他 <input type="radio"/>	
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	講義①聴覚障害者の基礎知識			① 基本的な会話を覚える ② 表情を豊かに表す ③ 声を出さずに手話を表す ④ 手話は言語であることを知る ⑤ 聴覚障害について理解する ⑥ 全国手話検定4級レベルの技術を身につける ⑦ ゲスト講師との会話練習を学ぶ ⑧ 指文字、4級単語を覚える ⑨ 動画、ホームワークを予習する ⑩ 伝える努力をする		
	3～20	第1講座～第9講座					
	21～22	講義②ことばのしくみ					
	23～24	第10講座まとめ2 自己紹介 ゲスト講師					
	25～42	第11講座～第19講座 小テスト					
	43～46	講義③聴覚障害者の生活					
	47～48	第20講座（小テスト）					
	49～54	検定対策 ゲスト講師					
	55～56	検定対策 科目修了試験					
	57～60	検定対策					
成績評価方法	科目修了試験（40％）平常点（20％）小テスト（40％）						
使用テキスト ／教材	手話奉仕員養成テキスト・「手話を学ぼう 手話で話そう」 手話奉仕員養成のための講義テキスト（発行：社会福祉法人 全国手話研修センター） 講師作成プリント						
関連科目	手話演習Ⅱ・ユニバーサルサービス						
その他	動画を視聴していただくこと。※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	FA面接						
学科・コース	エアライン科／客室乗務員コース						
担当教員	松永 清美 ・ 蓬萊 正樹						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		1	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	客室乗務員の採用面接試験を突破することを目的とします。第一印象の好感度を上げ、自己表現力を高めるため自己分析を徹底的に行います。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション	○	PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	航空業界の面接を知る			①航空業界の採用面接試験について知る ②適切な言葉遣いができる ③姿勢・発声・立居振舞を磨く ④表情良く話ができる ⑤好感度の高い第一印象を作り上げる ⑥自己分析を徹底し、自己を理解する ⑦伝えたいことを明確に伝えられる ⑧どのような事を聞かれても落ち着いて自身の想いを伝えられる ⑨自然に会話を続けながら適切に対話できる		
	3～4	立ち姿 座り姿 入退室 第一印象					
	5～8	自己分析 表情コントロール					
	9～14	エントリーシート対策（自己PR、志望動機等）					
	15～18	模擬面接（過去のエントリーシートに基づく）基本					
	19～22	模擬面接（過去のエントリーシートに基づく）企業ごと					
	23～26	企業様就活特別授業 模擬面接					
	27～28	グループディスカッション 就職対策に向けて					
	29～30	科目修了試験					
成績評価方法	科目修了試験（50％）平常点（50％）						
使用テキスト ／教材	オリジナルテキスト・「面接」						
関連科目	客室キャリアデザインⅡ						
その他	身だしなみを整えて受講すること。※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	客室実習 I						
学科・コース	エアライン科／客室乗務員コース						
担当教員	阪本知恵・松永清美						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		1	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	保安要員とサービス要員の二つの役割を理解し、その責任を全うするために必要な考え方、資質を身につけることを目標とします。実習を通し正しい言葉遣い、美しい立居振舞を身につけます。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 ○	反転授業	調査授業	フィールドワーク			
	双方向アンケート	ペアワーク ○	グループワーク ○	ロールプレイ ○			
	プレゼンテーション ○	PBL	模擬授業	その他			
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～4	概要説明、目標設定、スケジュール			①2年間の明確な目標設定と月ごとの目標や日々の目標等を定めることができる ②客室乗務員の業務がわかる ③客室乗務員に必要な資質がわかり、身につけるために必要なことを学ぶ ④実際のサービスについて知り、実践できる ⑤学んだことを他コースの学生へ提供できる ⑥機内の設備や装備品について知識を得る ⑦保安用品や保安業務の重要性を知る ⑧緊急時対応について学び、実際に脱出研修で体験する ⑨客室乗務員の大切な業務や必要な資質を知り、目指す姿を明確にする		
	5～8	業務の流れ、客室乗務員の資質、接客用語					
	9～14	FDA様連携授業					
	15～22	国内研修					
	23～28	サービス業務復習					
	29～30	サービス実習LA連携授業					
	31～36	授業内小テスト					
	37～40	前期復習、マインドセット					
	41～44	FDA様連携授業					
	45～48	保安の知識					
	49～52	航空機緊急脱出訓練研修					
	53～56	ミールサービス、機内アナウンス					
	57～58	保安業務総復習等					
59～60	科目修了試験						
成績評価方法	平常点（20%）前期確認テスト（40%）科目修了試験（40%）						
使用テキスト ／教材	オリジナルテキスト・「エアラインテキスト」						
関連科目	客室実習Ⅱ						
その他	身だしなみを整えて受講すること。（女子学生はスカーフ着用必須） ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

授業科目名	客室英会話 I						
学科・コース	エアライン科／客室乗務員コース						
担当教員	松永清美						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	1	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	客室乗務員の業務、航空機、空港業務等について英語で学び、おもてなしのこころを伝えられるようにします。また、様々な表現や航空業界で使われる単語を習得することで英語力を向上させることを目的とします。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 <input type="radio"/>		反転授業 <input type="checkbox"/>	調査授業 <input type="checkbox"/>	フィールドワーク <input type="checkbox"/>		
	双方向アンケート <input type="checkbox"/>		ペアワーク <input type="radio"/>	グループワーク <input type="radio"/>	ロールプレイ <input type="radio"/>		
	プレゼンテーション <input type="checkbox"/>		PBL <input type="checkbox"/>	模擬授業 <input type="checkbox"/>	その他 <input type="checkbox"/>		
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～6	Unit7 Welcome Aboard / Unit8 Before Takeoff					
	7～12	Unit9 In-flight Service / Unit10 In-flight Sales			①客室乗務員の業務の流れを英語で理解する		
	13～18	Unit11 Passenger Care / Unit12 Before Landing			②空港での一連の流れを英語で理解する		
	19～20	CABIN ATTENDANT 総復習・小テスト			③英語の接客用語を身に付ける		
	21～26	Unit1 Ticketing for a Domestic Flight			④航空機や空港にまつわる言葉を理解する		
		Unit2 Domestic Flight Check-in			⑤空港や機内での自然な会話のためのフレーズを習得する		
		Unit3 International Flight Check-in			⑥丁寧な応答表現を身に付ける		
		Unit4 Airport Lounge Service			⑦積極的にコミュニケーションのきっかけをつくらることができる		
		Unit5 Assisting Transit Passengers			⑧雰囲気や表情良く会話ができる		
		Unit6 Baggage Issues			⑨安心感を与えられる接客が英語でできる		
	27～28	総復習					
	29～30	科目修了試験					
成績評価方法	科目修了試験（50％）平常点（50％）						
使用テキスト ／教材	Hospitality English						
関連科目	客室英会話 II						
その他	電子辞書または英和辞典を持参のこと。※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	客室キャリアデザインⅠ						
学科・コース	エアライン科／客室乗務員コース						
担当教員	小尾純子・大橋美穂子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義		1	通年	必修	30	2	
授業目的 到達目標	客室乗務員の適性を理解し、目標達成に向けたキャリアプランを自立的に考え、客室乗務員向きの思考回路と行動様式を体得する。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	授業目標の理解					
	3～4	心と体を整える①			① 客室乗務員の適性を理解する		
	5～6	客室乗務員の適性①			② 客室乗務員向きの生活習慣の体得		
	7～8	国内研修に向けて 客室乗務員の適性②			③ 客室乗務員向きの印象を作る		
	9～10	国内研修を終えて 客室乗務員の適性③			④ 客室乗務員向きのコミュニケーション法		
	11～12	心と体を整える②			⑤ 肯定的思考力の体得		
	13～14	社会人基礎力			⑥ 想像力と会話力の強化		
	15～16	非言語コミュニケーション 夏休み課題指示			⑦ 瞬発的反応力の体得		
	17～18	夏休み課題FB			⑧ 働くことへの心構えができる		
	19～20	客室乗務員の適性④			⑨ ストレスコントロール法の体得		
	21～22	想像力と会話力①			⑩ 自身のキャリアを自立的に考えられる		
	23～24	想像力と会話力②					
	25～26	変化に気づく					
27～28	クルー間のコミュニケーション						
29～30	科目修了試験						
成績評価方法	平常点（30%）提出課題（30%）科目修了試験（40%）						
使用テキスト ／教材	講師オリジナル書き込みノート						
関連科目	客室キャリアデザインⅡ						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である。						